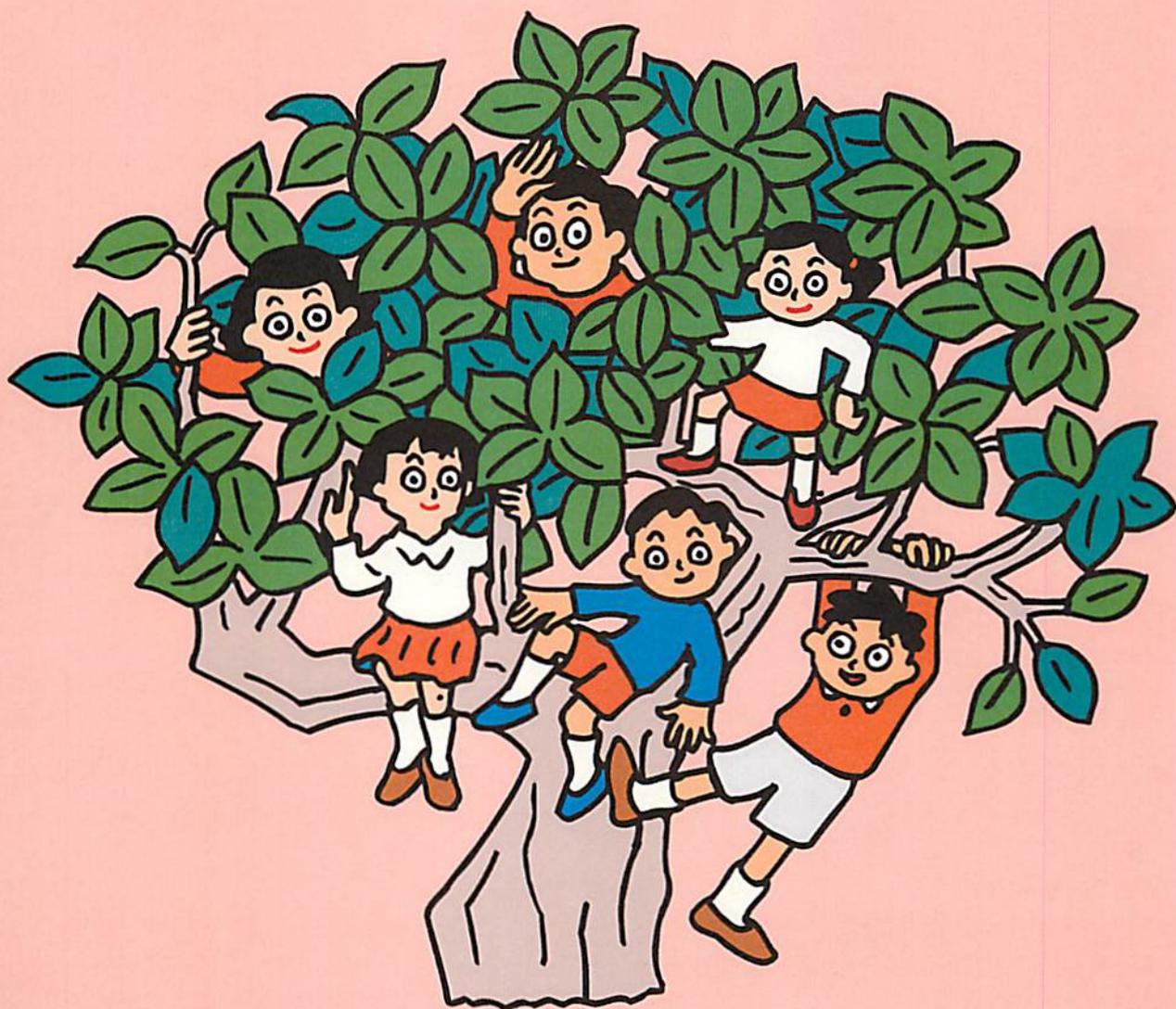


宮前まちづくり計画

平成27年度～平成31年度

～いつまでも住み続けたいまち～



宮前まちづくり協議会

目 次

I.	宮前地区の概要	1
1.	地区の特性	
2.	基礎データ	
3.	地域の主な課題	
II.	地域の将来像	5
	～いつまでも住み続けたいまち宮前～	
III.	地域の目指すべき5つの姿	6
1.	自立したまちづくり協議会の確立	
2.	活気あふれる元気なまちづくり	
3.	安全で安心して暮らせるまちづくり	
4.	地域の絆を大切にするまちづくり	
5.	恵まれた自然環境を守り続けるまちづくり	
IV.	まちづくりの分野別計画	7
V.	個別事業実施計画	11
VI.	地域計画の進め方	31
VII.	地域計画策定委員	31
VIII.	地域計画策定の経過	31
IX.	その他資料	32
1.	宮前まちづくり協議会組織図	
2.	ふるさと応援寄付金ちらし	
3.	宮前地区施設位置図	
4.	珍布峠ウォーキングコース図	

I. 宮前地区の概要

1. 地域の特徴

地理：当地区は、松阪市の西部旧飯高町の東の玄関口に位置し、周囲に1,000級の山々が連なり、奈良県境の高見山を源流とする榎田川とその支流に沿って集落が点在するまちです。標高は飯高地域振興局で約145m、面積は27.82km²で約90%が山林です。限られた農地では田や茶畑が耕作され、地区内の大半が香肌峡県立自然公園に指定されています。また、まちの中を東西に中央構造線が走り、その断層を荒滝不動尊の庄司川で見ることができます。

観光：当地区は、天然温泉のある道の駅「飯高駅」を中心に、和歌山街道（めずらし峠）ウォーキングコースが整備され、休日は多くの人で賑わいます。コース周辺には、県文化財に指定された大楠がある水屋神社、200年余の歴史ある大神楽が残る花岡神社、映画界の巨匠、小津安二郎資料室等があり、歴史と文化を感じることができます。また、伊勢三山のひとつである局ヶ岳は初級者向けの登山コースとして人気があります。つつじの名所として有名な荒滝不動尊の入口にある宿泊施設「つつじの里荒滝」は、魚釣り、魚つかみ、キャンプ等が楽しめます。

歴史：赤桶の水屋神社に近接する宮ノ東遺跡からは、縄文時代後期の土器等が多数出土していることから、すでにこの頃、竪穴住居の並ぶ集落が営まれていたと考えられています。時代は下って、南北朝時代に入ると、伊勢と大和の国分け伝説が残るように、水屋神社には春日大社の影響が残っていました。鎌倉時代に入ると当地域は、北畠具教が織田信長に暗殺されるまで、伊勢の国司・北畠氏によって治められていました。北畠氏は美杉の多気の館を本拠としていたため、庄司峠をから尾放峠を経て大台の三瀬の館へ人馬の往来がありました。今も、野々口の山腹に北畠具教の首塚が祀られています。

江戸時代、当地は紀州藩松阪領となりました。和歌山街道の宿駅として交通の要衝であり、本陣や伝馬所が置かれ、高札場もあったと記録に残っています。明治22年、市町村制が実施され、現在の財産区である下滝野、宮前、野々口、作滝、赤桶の地区ができました。

産物は材木、お茶・椎茸で、特に川俣茶は八代将軍吉宗に献上し御用茶となりました。明治時代には茶聖大谷嘉兵衛が横浜を舞台に活躍をしました。

行事：当住民協議会は、9つの自治会で構成されていますが、代々継承されてきた年中行事等は、下滝野区、宮前区、野々口区、作滝区、赤桶区の5つの財産区が守り続けています。また、合併を機に、若い世代のグループが地域全体の祭りとして「宮前フェスティバル」を企画運営しています。

名 称	開催時期	実施主体
つつじ祭り	毎年4月29日(祝)	赤桶区
栢原不動尊祭り	毎年4月第2日曜日	下滝野区
局ヶ岳神社祭り	毎年4月第1日曜日	宮前区
秋葉さん祭り	毎年10月上旬	宮前区
あたごさん祭り	毎年4月第3日曜日	野々口区
花岡神社、春秋祭	毎年3月、10月	氏子総代会
水屋神社、春秋祭	毎年3月、10月	氏子総代会
各地域盆踊り	毎年お盆	各区
宮前文化祭	毎年3月上旬	実行委員会
赤桶ふるさと祭り	毎年2月中旬	実行委員会
宮前フェスティバル	毎年9月中旬	実行委員会

2. 基礎データ

○宮前地区の年代別人口の推移

(住民基本台帳による)

	宮前地区 の人口	世帯数	男	女	年少人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
2000年4月 (H12)	2,276人	689	1,098人	1,178人	—	—	—
2005年4月 (H17)	2,199人	710	1,050人	1,149人	—	—	—
2010年4月 (H22)	1,990人	735	935人	1,055人	237人 (11.9%)	1,060人 (53.3%)	693人 (34.8%)
2014年4月 (H26)	1,814人	746	861人	953人	195人 (10.7%)	905人 (49.9%)	714人 (39.4%)

○地区内にある小中学校の児童生徒数

H26.5.1現在

学 校 名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
宮前小学校	9人	11人	14人	18人	17人	20人	89人
飯高東中学校	15人	21人	25人				61人

(田引地区の児童生徒を含む)

○地区内にある主な公共施設等

施設名称	所在地	連絡先
松阪市飯高地域振興局	宮前 180	0598-46-7111
松阪市飯高老人福祉センター	宮前 704-2	0598-46-1315
宮前診療所	宮前 1104	0598-46-0003
飯高歯科診療所	宮前 1103-2	0598-46-0154
松阪警察署 飯高幹部交番	宮前 210-2	0598-46-0009
宮前郵便局	宮前 239-2	0598-46-0230
飯高東中学校	宮前 927	0598-46-0004
宮前小学校	宮前 1022	0598-46-0034
やまなみ保育園	宮前 112	0598-46-0056
道の駅「飯高駅」	宮前 177	0598-46-1111
つつじの里「荒滝」	赤桶 1076-3	0598-46-0166

○安全な暮らしに関するデータ

H26.5.1現在

名 称	数量等	名 称	数量等
カーブミラー	106ヶ所	自主防災組織	5団体
防犯灯	261ヶ所	消防団員	70人
自治会掲示板	24ヶ所	防火水槽	66箇所
ゴミ集積所	28ヶ所	消化栓	132箇所

3. 地域の主な課題

●まだまだ参加者が少ないまちづくり事業

- 過疎化や少子高齢化の中では、一人ひとりの力を持ち寄って、まちづくりを進めていく必要があります。役員になった人だけに任せるのではなく、宮前に住まうみんなが自分ごととしてとらえ活動に参加することが大切です。
- 地域には既存の団体があり、いろいろな活動を行なっています。特に区や自治会はそれぞれに歴史を持ち、新しく誕生したまちづくり協議会との違いが住民の皆さんに周知できていません。そこで各種団体との役割分担と連携が必要になってきます。
- まちづくり協議会は自主財源がないために、役員の継続的な確保が難しくなっています。会員に積極的に呼びかけて、次代を担う後継者（リーダー）を育成していく必要があります。

●全国規模で少子高齢化が進む中山間地域

- 働きたくても働く場所が少ないため、若者が都市部に出て行き、小中学校の児童生徒も減少しました。平成 28 年度から飯高管内の中学校が統合されますが、保育園・小学校・中学校は宮前地区に残るため地域住民みんなで支えていく必要があります。特に、中学校統合問題は、地域との繋がりが強い施設だけに、他地域の生徒の受け入れについてはPTAとともに新しい運営システムを構築していく必要があります。
- 合併前は町が若者定住住宅を建設してきましたが、地域には市営住宅の数がまだ不足しています。若者が定住するためには、地域が住宅適地や空き家を紹介するとともに、定住者が地域の生活習慣に慣れるよう支援していく必要があります。
- 総合病院や大型店が遠方にあるので、通院買い物に時間を要したり、生活必需品がすぐ入手できないことがあります。特に、公共交通機関が十分に整備されていないために、車をもたない高齢者や学生は不便を感じています。
- 当地区の基幹産業である林業や農業（お茶）が担い手不足により活力がなくなるとともに、撤退する商工者が増えています。
- 子育て世代にとっては、自然はあるものの、図書館・文化ホールなどの文化的施設や映画館等の娯楽施設がなく賑わいが無いと感じています。
- 始めからこのまちに住んでいる人は、このまちの魅力に気づいていないことがあります。

●心配不安な防災・防犯

- 災害はいつやってくるかわかりません。一人ひとりが防災意識を高めることが必要です。
- 当地域は急傾斜地が多く、近年の大型台風やゲリラ豪雨で引き起こされる土砂災害が心配な箇所がたくさんあります。日頃の隣近所のお付き合いを大切に、非常時には支えあうことが必要です。特に、高齢者や要援護者の方への支援が必要です。
- 飯高駅には年間 35 万人以上の来訪者があり、昔のようにみんなが顔見知りという時代ではなくなりました。地域で声かけをしたり、防犯パトロールや早めの不審者情報伝達が必要です。

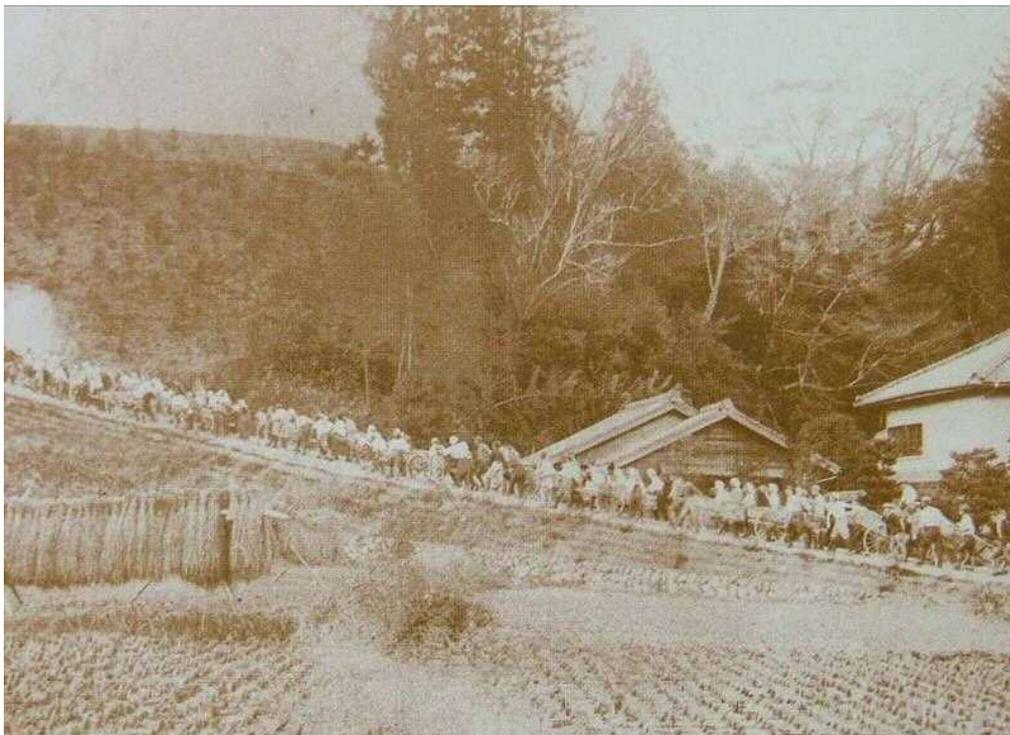
●少しずつ薄れていく地域の絆

- 地域での助け合いの機会が少なくなり、人びとの間の信頼感や絆が薄れてきています。地域の交流が活発になるように地域間・世代間をつなぐ憩いの居場所の設置が必要です
- 残していきたい地域行事や伝統文化が、担い手や後継者不足で続けていくことが難しくなっています。

- 子育て世代の人の中には、子育てに不安や悩みを抱える親が増えています。子どもの健やかな成長には、周りの大人の援助や協力が必要なことから、地域の子どもを地域の宝として育てていく必要があります。
- 当地区は、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増えています。ふれあいや生きがいのための居場所を設置したり、隣近所の見守り体制の確立が必要です。
- 当地区は、葬儀や出合い等への参加を強制されることが多く、移住者等は自治会等に参加しない人もいます。

●地球規模で荒廃する自然環境

- 清流櫛田川の河川環境が、近年悪化し、夏の風物詩であった鮎釣りをする姿や川で遊ぶ子どもたちの姿を見かけなくなりました。また、櫛田川は都市部の人々の水がめでもあることから、上流の地域に住む者としてこの水を守っていくとともに、鮎釣り人や子どもの姿を櫛田川に取り戻す必要があります。
- 林業や農業の担い手不足や鳥獣害により、耕作放棄地が少しずつ増え、生活環境にも影響が出はじめています
- 林業の不振により、先人から引き継いだ森林資源がムダに放棄されています。バイオマス発電事業者等と協働して、山に切り捨てられる間伐材を搬出することは、森林の保護にも繋がります。
- 人里離れた林道沿いでは不法投棄が多くなってきました。人の手を入れて里山を復活していく必要があります。



地区住民が力をあわせ、堂山（現宮前小学校、飯高東中学校の建設地）に資材を運ぶ様子です。

Ⅱ. 地域の将来像

わたしたちの住む宮前地区は、美しい自然と山里の豊かな暮らしがもたらした歴史や地域文化があります。豊かな自然は、わたしたちの暮らしを支え、心を和ませるなど無限の恵みを与えています。

このような自然と歴史、地域文化の良さを、次の世代へと引き継いでいくことは、わたしたちの大切な役割です。また、地区内には、振興局を始め、保育園、小学校、中学校や診療所等があり、中山間地にあっても子育てに必要な機能を有した地域です。

さらに、道の駅「飯高駅」を中心に、山里の恵みを都市に住んでいる皆様にも提供し、都市住民との交流を進めることで、地域の活性を図っていきたくと考えています。

一人ひとりの地域住民が「やさしさ」と「たくましさ」を持ち、みんなが笑顔に包まれた宮前をつくっていきたくと考えています。そして、この素晴らしい環境の中で次の世代の子供たちが育ち、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを目指していきます。

いつまでも住み続けたいまち宮前

☆ 未来を担うやまなみ保育園の園児たち ☆



Ⅲ. 地域の目指すべき5つの目標

1. 自立したまちづくり協議会の確立

地域振興局が縮小されていく現状の中で、松阪市住民協議会規則に基づく住民協議会の役割や責任がますます大きくなると考えられます。宮前地区まちづくり協議会は、自立したまちづくり協議会を目指し、独自でまちづくり会館を運営管理するとともに、隣接する松阪市飯高老人福祉センターの指定管理委託を検討していきます。また、各区・各自治会との役割分担を明確にしながら協働による地域経営が出来るよう、組織の仕組みを再構築していきます。今後は、若者や女性の住民協議会への参加率をさらに高め、組織の強化を図るとともに、まちづくり活動資金を確保するために努力します。

2. 活気あふれる元気なまちづくり

私たちの住む地区を、活気あふれる元気なまちにするために、地域資源である美しい自然環境や歴史文化を活用して観光振興策や特産品の販路拡大を図っていく必要があります。そのために、和歌山街道ウォーキングコースの整備を進めるとともに、道の駅「飯高駅」を拠点とした地域内外への情報発信やイベント等の事業に取り組みます。また、観光資源を活用した雇用の場が確保できるよう、まちづくり会社の設立を検討していきます。子育て世代がイベント等の実施でまちを盛り上げ、地域の整備事業等は先輩世代が受け持ちながら、世代を超えたまちづくりを進めます。

さらに、市の実施する空き家バンク制度に協力し、移住者を受け入れるための地域環境を整備していきます。

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

いつ発生してもおかしくない、地震や風水害の災害被害を最小限に止めるため、一人ひとりの防災意識を高める啓発や自主防災組織の活動を支援するとともに、地域が協力して子どもや高齢者を犯罪や交通事故から守る運動に取り組みます。

急傾斜地や危険箇所が多い当地区では、早めの避難を呼びかけるために防災無線の整備や避難路の確保を行政と協働して進めていくとともに、防犯灯の新設、LEDへの取替えも進めていきます。

安全・安心は市民生活の基本であり、地域住民や各種団体、事業者、警察、行政がお互いに連携し一体となって「安全・安心なまち」を築いていく必要があります。

4. 地域の絆を大切にすまちづくり

人と人との絆が失われつつある今日、仕事に追われる働き世代、生活のしづらさを抱える高齢者、子育てに悩む子育て世代が増えるなか、世代を超えた交流を生み出すとともに、隣近所の声かけで地域住民が連携していけるまちづくりに取り組みます。新たに、宮前に住みたいと考えている人には自治会を通じて移住をサポートしていく必要があります。また、子育て支援や世代間交流、福祉ボランティアの育成、災害時の避難支援など、一人ひとりが取り組めるところからはじめていくことが重要です。

誰もが安心して住み慣れたまちで暮らせるようお互いに支え合い、今日まで培われてきた高齢者の経験と知恵を次世代へ引き継ぐとともに、新たな人材の育成や若者が定住できる魅力あるまちづくりを推進していきます。

5. 恵まれた自然環境を守り続けるまちづくり

地球規模で進む環境破壊は、当地域にも影響を及ぼしています。河川の水質悪化、山林の崩壊、里山・農地の荒廃、不法投棄などが顕著な問題となっています。また老朽化した空き家が素晴らしい自然景観を阻害しているところもあります。

四季折々の彩りをなす自然があり、きれいな水が流れ、夜になると星もいっぱい見ることができる、このまちを未来に引き継いでいくために、美化運動や里山・水辺の整備などできることから始めていきます。

IV. まちづくりの分野別計画

先に示した、地域の目指すべき5つの目標を施策ごとに分け、具体的な事業を設定しました。主体の「自主」はまちづくり協議会が独自で、「協働」は市や他の団体と協働して実施する事業を示しています。実施の時期は「短期」は3年以内、「中期」は4～5年、「長期」は6年以上を想定しています。また、備考欄には、協働すべき団体を記載しています。

1. 自立したまちづくり協議会の確立（事務局部）（自治部会）

施策名 事業名	事業内容	主体	スパン	予定 時期	備考
(1) まちづくり会館等の運営管理					
①まちづくり会館運営 管理事業	宮前まちづくり会館を運営管理するとともに、必要に応じ施設整備を行う。	自主	短期	H27～ (継続)	
②宮前地区火葬場運営 管理事業	宮前地区の火葬場は、当面、事務局を飯盛生産森林組合に委託するが、施設の取り壊しについて検討していく。	自主	短期	H27～ (継続)	市の交付金を活用 市
③飯高老人福祉センター施設管理事業	まちづくり協議会による当施設の指定管理実現にむけた検討委員会を設置する。	協働	中期	H30～ (新規)	市
(2) 地域のまちづくり活動との連携					
①まちづくり活動等交流事業	各区、各種団体の活動を情報共有し交流・連携につなげる。	協働	中期	H30～ (新規)	自治会等 各種団体
②まちづくり活動等伝承事業	地域に伝わる祭事や行事、生活文化にかかる記録の保存・伝承を行う。	協働	中期	H30～ (新規)	自治会等 各種団体
(3) まちづくり協議会の情報発信					
①ホームページ等活用事業	宮前まちづくり協議会ホームページの開設と運営管理を行う。	自主	短期	H27～ (新規)	
②協議会だより等発行事業	年4回の宮前まちづくり協議会だよりを発行する。	自主	短期	H27～ (継続)	
(4) まちづくり活動資金の確保					
①活動交付金等活用事業	市の活動交付金や地域の元気応援事業を活用し、地域振興事業を展開する。	自主	短期	H27～ (継続)	
②ふるさと応援寄付金等活用事業	ふるさと応援寄付金を活用し、自主財源の確保に努める。	自主	短期	H27～ (新規)	
(5) まちづくりの人材確保と育成					
①人材発掘育成事業	人材の掘り起こしを進めるとともに、研修会や勉強会を通して能力向上を図る。	自主	短期	H27～ (新規)	
②人材研修等開催事業	研修会や勉強会を開催するとともに、市が開催する人材育成支援研修等に積極的に参加する。	協働	短期	H27～ (継続)	市

2. 活気あふれる元気なまち（自治部会）（観光部会）（文化部会）

施策名 事業名	事業内容	主体	スパン	予定 時期	備考
(1) 和歌山街道ウォーキングコースの充実					
①ウォーキングコース 管理事業	和歌山街道ウォーキングコースの維持管理を行うとともに、ガイドボランティアの充実を図る。	自主	短期	H27～ (継続)	ボランティア 団体
②ウォーキングコース 整備事業	ウォーキングコース内にトイレや東屋等を設置する。	自主	短期	H27～ (新規)	市の助成事業 を活用
(2) 観光資源の活用と特産品の開発及び販路拡大					
①まちづくり会社設立 事業	まちづくり起業家を育成するとともに、地域資源を活用したまちづくり会社の設立を検討する。	協働	中期	H30～ (新規)	民間団体 事業者
②特産品等開発及び販 路拡大事業	民間事業者と協働して地区のブランド化や特産品開発を進めるとともに特産品などの販路拡大を図る。	協働	中期	H30～ (新規)	民間団体 事業者
(3) 地域イベントの開催					
①地域イベント等開催 事業	実行委員会を立ち上げ、「宮前フェスティバル」等を開催する。	協働	短期	H27～ (継続)	飯高駅
②地域イベント等支援 事業	地域の祭事や行事等の調査を実施しするとともに、PR等の支援を行う。	協働	中期	H30～ (新規)	自治会等
(4) 生産者・事業者と連携した集客のしくみづくり					
①集客システム構築事 業	商工会等と連携し、商業活性化のため魅力的な集客システムを構築する。	協働	中期	H30～ (新規)	民間・商工会
②事業者等連携事業	観光事業者や三重交通等と連携し、団体客むけの観光商品（バスハイク）等を開発する。	協働	中期	H30～ (新規)	民間・商工会
(5) 移住者への魅力発信					
①移住者向け魅力発信 事業	ホームページを活用し、地域の情報を発信する。	協働	短期	H27～ (新規)	市、自治会等
②空き家バンク等支援 事業	市と連携し、空き家の有効利用と移住者の定住化を進める。	協働	短期	H27～ (新規)	市、自治会等

3. 安全で安心して暮らせるまち（防災部会）（青少年部会）（健康部会）

施策名 事業名	事業内容	主体	スパン	予定 時期	備考
(1) 地域防災連携の強化					
①自主防災組織強化事業	自主防災組織の強化を図り、防災活動マニュアルを見直す。	協働	短期	H27～ (継続)	市・自治会等
②防災マップ更新事業	危険区域等の点検を行い、防災マップを更新作成し各戸に配布する。	協働	中期	H30～ (継続)	市・自治会等
③大災害地域対応計画策定事業	大災害発生に備え、地区の役割分担（連絡連携プレー）を明確にし、周知啓発を行う。	協働	短期	H27～ (新規)	市・自治会等
(2) 犯罪のないまちづくり					
①防犯灯等整備事業	現地調査を実施し、防犯灯等の設置やLEDへの変更を行う。	協働	短期	H27～ (継続)	自治会等
②地域防犯組織設置事業	自治会と連携して地域防犯組織を設立し、声かけ運動や空き家等の巡回を行う。	協働	短期	H27～ (継続)	自治会等
(3) 交通事故のないまちづくり					
①交通安全指導連携事業	自治会や学校・警察・行政等と連携して啓発運動や研修に参加する。	協働	短期	H27～ (新規)	自治会・学校等
②カーブミラー等点検整備事業	自治会や学校・PTAと連携し、カーブミラー等の点検を行い、改善要望をしていく。	協働	短期	H27～ (新規)	市・自治会・学校等
③通学路等点検整備	自治会や学校・PTAと連携して通学路の安全点検を行い、改善要望をしていく。	協働	短期	H27～ (新規)	市・自治会・学校等

4. 地域の絆を大切にするまち（福祉部会）

施策名 事業名	事業内容	主体	スパン	予定 時期	備考
(1) 誰もが憩えるたまり場づくり					
①まちづくりサロン整備事業	集会所や空き家を利用したまちづくりサロンの確保を検討する。	協働	長期	H32～ (新規)	民生児童委員
②地域子育て支援事業	保護者や子育てに関わる各種団体等と連携し、充実した子育て環境の整備を支援する。	協働	短期	H27～ (継続)	保護者会
(2) 隣近所の声かけ見守り事業					
①声かけ見守り事業	子どもや高齢者・障がい者等の見守り体制を確立する。	協働	短期	H27～ (新規)	民生児童委員
(3) 世代間交流の促進					
①世代間交流事業	公民館講座・スポーツを通して世代を超えたふれあい交流事業や敬老事業を行う。	協働	中期	H30～ (新規)	公民館・民生児童委員等

5. 恵まれた自然環境を守り続けるまち（自治部会）（健康部会）

施策名 事業名	事業内容	主体	スパン	予定 時期	備考
(1) 美化運動の拡充事業					
①美化運動拡充事業	自治会と連携し、美化運動の拡充を図る。	協働	短期	H27～ (継続)	自治会等
②ポイ捨て防止看板設置事業	ゴミのポイ捨て防止看板を設置する。	協働	中期	H30～ (新規)	自治会等
(2) 憩いの広場づくり・里山の手入れ					
① 山村公園等管理事業	農山村公園等の保持と適正管理を支援する。	協働	中期	H30～ (新規)	自治会等 市
②里山等整備事業	荒廃した里山を保全し生態系の維持につなげていく。	協働	長期	H32～ (新規)	自治会等 市
(3) 水辺とふれあう里づくり					
①ふるさとの水辺整備事業	水辺（櫛田川）への降口や遊歩道等を整備する。	協働	長期	H32～ (新規)	自治会等 市
②清流櫛田川復元事業	水道水源である櫛田川をPRし、清流櫛田川を取り戻す運動を展開する。	協働	長期	H32～ (新規)	自治会等 市



清流 櫛田川（赤桶地内）

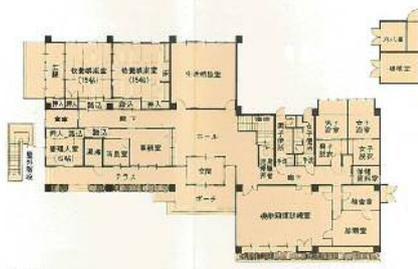
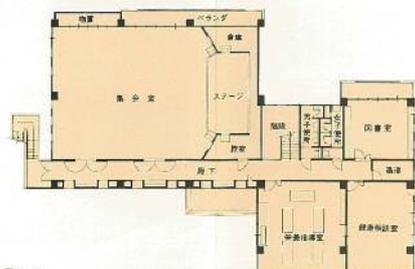
V. 個別事業実施計画

1. 自立したまちづくり協議会の確立

(1) まちづくり会館の運営管理

1-(1)-①					
事業名	まちづくり会館の運営管理事業	説明	地域住民の利便性を高めるために、宮前まちづくり会館を運営管理するとともに、必要に応じ施設整備を行う。		
現状と課題	公共施設は、会議等の利用時間が制限されるため、まちづくり協議会専用の会館を所有（借受）している。今後とも継続的に所有していくには、維持経費や施設整備費の確保が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	会館管理費	会館管理費	会館管理費	会館管理費	会館管理費
概算予算 (交付金充当額)	700,000円 (700,000円)	700,000円 (700,000円)	700,000円 (700,000円)	700,000円 (700,000円)	700,000円 (700,000円)
参考事項	 <p>宮前まちづくり会館</p>		 <p>宮前まちづくり会館での交流会</p>		

1-(1)-②																										
事業名	宮前地区火葬場運営管理事業	説明	地区の火葬場は、当面、事務局を飯高管内の施設を一括して飯盛生産森林組合に委託していくが、今後施設の取り壊しについて市と協議しながら検討していく。																							
現状と課題	飯高管内に市営の火葬場がないため、地区の老朽化した火葬場を使用している。しかし、平成23年8月から飯南管内のさくら坂飯南火葬場が利用できることになり、当施設の利用件数は少なくなってきた。																									
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																					
	運営委託費	運営委託費	運営委託費	運営委託費	運営委託費																					
概算予算 (交付金充当額)	300,000円 (300,000円)	300,000円 (300,000円)	300,000円 (300,000円)	300,000円 (300,000円)	300,000円 (300,000円)																					
参考事項	 <p>宮前地区火葬場</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用件数</th> <th>他利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>21体</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>19体</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>13体</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>14体</td> <td>1体</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>13体</td> <td>4体</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>4体</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			年度	利用件数	他利用件数	平成20年度	21体	—	平成21年度	19体	—	平成22年度	13体	—	平成23年度	14体	1体	平成24年度	13体	4体	平成25年度	4体	—
年度	利用件数	他利用件数																								
平成20年度	21体	—																								
平成21年度	19体	—																								
平成22年度	13体	—																								
平成23年度	14体	1体																								
平成24年度	13体	4体																								
平成25年度	4体	—																								

1-(1)-③					
事業名	飯高老人福祉センター 施設管理事業	説明	飯高老人福祉センターをまちづくり協議会が指定管理者制度により運営管理するために、委員会を設置し実現にむけた検討をしていく。		
現状と課題	当施設は、宮前まちづくり会館と隣接し駐車場を共有していることから、まちづくり協議会が指定管理者制度により運営管理した方が住民の利便性が向上するが、市条例改正等が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	検討委員会設置	検討委員会設置
参考事項	<div style="text-align: center;">  <p>松阪市老人福祉センター</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>1階</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2階</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>松阪市老人福祉センター管内の配置図</p> </div>				

(2) 地域のまちづくり活動との連携

1-(2)-①					
事業名	まちづくり活動等交流事業	説明	各区の祭事や各種団体の行事を地域住民にPRし、参加・交流を促進するために、各区、各種団体が実施している祭事等を調査し、イベント情報誌にまとめ各戸に配布する。		
現状と課題	各区の祭事や各種団体の行事は、高齢化や過疎化によって参加者が減少していることから、先人から受け継がれた祭事等が次の世代に継承できない。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	祭事等調査	情報誌作成
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)
参考事項	 <p style="text-align: center;">花岡神社の大神楽</p>				

1-(2)-②					
事業名	まちづくり活動等伝承事業	説明	地域に伝わる祭事や行事、生活文化にかかる記録の保存と伝承を行うために、昔の生活文化の写真を編集整理するとともに、祭事や行事を写真やDVDに記録して保存する。		
現状と課題	地域には、古くから伝わる祭事や行事が残っているが、それを知る人や継承する人が少なくなってきた。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	記録保存	記録保存
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)
参考事項	 <p style="text-align: center;">貴重な資料の記録</p>				

(3) まちづくり協議会の情報発信

1-(3)-①					
事業名	ホームページ等活用事業	説明	宮前地区の魅力と協議会等の活動内容を広く周知PRするために、宮前まちづくり協議会のホームページを開設するとともに、更新等の運営管理を行う。		
現状と課題	協議会の情報を、地区内外へ広く発信する手段がないため、宮前地区の魅力や協議会等の活動内容を周知PRする機会が限定的になっている。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	ホームページ開設	ホームページ管理	ホームページ管理	ホームページ管理	ホームページ管理
概算予算 (交付金充当額)	250,000円 (250,000円)	30,000円 (30,000円)	30,000円 (30,000円)	30,000円 (30,000円)	30,000円 (30,000円)
参考事項	 <p>【参考】波瀬むらづくり協議会のホームページ</p>				

1-(3)-②					
事業名	協議会だより等発行事業	説明	まちの魅力を再発見し、地域内外に情報発信を行うために、年に4回の宮前まちづくり協議会だよりを発行する。 ・発行部数 800部		
現状と課題	現在、宮前まちづくり協議会だよりを年2回発行しているが、今後、地域の魅力や協議会と各種団体との連携事業を積極的に掲載していく必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	協議会だより発行	協議会だより発行	協議会だより発行	協議会だより発行	協議会だより発行
概算予算 (交付金充当額)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)
参考事項	 <p>宮前地区まちづくり協議会だより 第1号</p>				

(4) まちづくり活動資金の確保

1-(4)-①					
事業名	地域の元気応援事業等活用事業	説明	市の活動交付金や地域の元気応援事業を活用して、地域イベントや地域内整備を進めていく。		
現状と課題	現在、宮前まちづくり協議会は会費等を徴収していないため、自主財源が乏しく市の活動交付金や元気応援事業などを活用しなければ事業ができない。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	 <p style="text-align: center;">元気応援事業で作成した冊子とパンフレット</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">元気応援事業等活用の実績</p> <p>H24 歴史街道（和歌山街道） 宮前宿冊子作成 25万円</p> <p>H25 歴史街道宮前宿活性化事業 珍布峠ウォーキングガイド作成 24万円</p> <p>H26 和歌山街道観光開発事業 広域連携（宮前・川俣・森・波瀬）55万円</p> </div>				

1-(4)-②					
事業名	ふるさと応援寄付金活用事業	説明	協議会独自の地域特典を付加した、「ふるさと応援寄付金」を活用して、自主財源を確保する。		
現状と課題	当協議会は、市の活動交付金を財源にして人件費等に対応しているが、今後活動を拡充していくために自主財源が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	ふるさと交流	ふるさと交流	ふるさと交流	ふるさと交流	ふるさと交流
概算予算 (交付金充当額)	100,000円 (0円)	100,000円 (0円)	100,000円 (0円)	100,000円 (0円)	100,000円 (0円)
参考事項	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">ふるさと納税の目標</p> <p>平成 27年度 500,000円</p> <p>平成 28年度 600,000円</p> <p>平成 29年度 700,000円</p> <p>平成 30年度 800,000円</p> <p>平成 31年度 900,000円</p> </div> <p style="text-align: center;">ふるさと納税ちらし</p>				

(5) まちづくり人材確保と育成

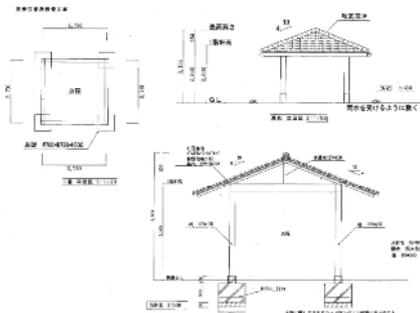
1-(5)-①					
事業名	人材発掘育成事業	説明	人材の掘り起こしを進めるとともに、研修会や勉強会を通して関係者の能力向上を図る。		
現状と課題	当協議会を充実した組織にしていくために、企画、財務、労務等広範囲の知識が必要であることから、能力をもった中高年（シニア）の掘り起こしを行うとともに、若年移住定住者の情報共有を図る必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	視察研修費	視察研修費	視察研修費	視察研修費	視察研修費
概算予算 (交付金充当額)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)
参考事項	 <p>観光ボランティア視察研修</p>				

1-(5)-②					
事業名	人材研修等開催事業	説明	担当事務員の能力を向上させるために、研修会や勉強会を開催するとともに、市が開催する人材育成支援研修等に積極的に参加する。		
現状と課題	当協議会を充実した組織にしていくためには、企画、財務、労務等広範囲の知識が必要であるため、担当事務員の能力向上を図る必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	研修会開催	研修会開催	研修会開催	研修会開催	研修会開催
概算予算 (交付金充当額)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)	20,000円 (20,000円)
参考事項	 <p>市主催の事務局研修会への参加状況</p>				

2. 活気あふれる元気なまち（自治部会）（観光部会）（文化部会）

(1) 和歌山街道ウォーキングコースの充実

2-(1)-①					
事業名	ウォーキングコース管理事業	説明	飯高駅を拠点とした安全・安心なウォーキングコースとして草刈や清掃等の維持管理を行うとともに、ガイドボランティアを充実させる。		
現状と課題	和歌山街道ウォーキングコースは年間5,000人が利用する重要な地域資源であるが、継続的に維持管理ができる体制が必要である。現在、8人のガイドボランティアが活躍しているが、さらに充実させていく予定である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	コース管理費	コース管理費	コース管理費	コース管理費	コース管理費
概算予算 (交付金充当額)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)	100,000円 (100,000円)
参考事項	 <p>観光ボランティアによるコースの整備</p>		 <p>観光ボランティアによるコースの案内</p>		

2-(1)-②					
事業名	ウォーキングコース整備事業	説明	ウォーキングコース（7kmコース）の中間地点にトイレや東屋等を設置する。		
現状と課題	20年から案内板等を設置し整備してきたウォーキングコース（7kmコース）は、途中にトイレや休憩施設等がないため、安心してウォーキングができない。平成26年11月に仮設トイレを設置したが、女性の利用者が増えていることから、水洗トイレや東屋の設置が望まれる。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	東屋設置	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	2,500,000円 (0円)	—	—	—	—
参考事項	 <p>仮設トイレ</p>		 <p>東屋の設計図</p>		

(2) 観光資源の活用と特産品の開発及び販路拡大

2-(2)-①					
事業名	まちづくり会社設立事業	説明	まちづくり協議会が中心になり、まちづくりのための起業家を育成するとともに、地域資源を活用したまちづくり会社の設立を検討する。		
現状と課題	当地区は飯高駅を中心に観光交流産業が育ちつつあるが、周辺にも雇用の場が確保できる観光資源があり、その活用が必要である。起業家育成を図りながら、まちづくり会社の設立を検討していく。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項					
	道の駅 飯高駅		つつじの里 荒滝		

2-(2)-②					
事業名	特産品等開発及び販路拡大事業	説明	飯高駅と研究会を立ち上げ、地域ブランド化や特産品開発を進めるとともに、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した販路拡大を図り、雇用の場の確保につなげる。		
現状と課題	飯高駅を中心に展覧する農産物は商品化ができてきたが、まだまだ、商品化ができていない農産物等が多いことから、付加価値をつけた加工品の開発が必要である。また、雇用の場の確保からも特産品の販路を拡大し地域ビジネスとして育成していく必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	販路調査	販路調査
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項					
	飯高駅の開発した特産品		飯 Ne!! の開発した特産品		

(3) 地域イベントの開催

2-(3)-①					
事業名	地域イベント等開催事業	説明	地域で作る若いグループを中心に実行委員会を立ち上げ、(株)飯高駅と共催で「宮前フェスティバル」等を開催する。		
現状と課題	地域活性化と地域内外の交流を目的に、宮前フェスティバルを開催してきたが、今後も飯高駅を拠点に関係団体と連携して開催し、地域の元気をUPさせる必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	イベント開催委託	イベント開催委託	イベント開催委託	イベント開催委託	イベント開催委託
概算予算 (交付金充当額)	1,000,000円 (500,000円)	1,000,000円 (500,000円)	1,000,000円 (500,000円)	1,000,000円 (500,000円)	1,000,000円 (500,000円)
参考事項	 <p>下滝野 SAN さん会、宮前良処会、赤桶やったる会のメンバー</p>				

2-(3)-②					
事業名	地域イベント等支援事業	説明	各地域で開催される祭事や行事を調査し、宮前まちづくり協議会だより等を通じてPRをしていく。		
現状と課題	当地区には、荒滝つつじ祭りをはじめ、区や組で実施される祭事や行事等が数多く開催されるが、主催者も高齢化し、参加者も年々減少している。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	イベント開催助成	イベント開催助成	イベント開催助成	イベント開催助成	イベント開催助成
概算予算 (交付金充当額)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項	 <p>赤桶つつじ祭り 秋葉山秋まつり</p>				

(4) 生産者・事業者と連携した集客のしくみづくり

2-(4)-①					
事業名	集客システム構築事業	説明	西部商工会等と連携し、地域資源のパッケージ化や地域の歴史・文化に触れる機会を提供するなどして、魅力的な集客システムを構築し、地域ビジネスにつなげていくよう努力する。		
現状と課題	飯高駅を中心に年間35万人の入込み客があるが、観光客の消費動向が地域経済に波及していない現状にある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	システム構築	システム構築
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項	<p>森林活プロジェクト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【例】バイオマス発電買取制度と連携した商品券の発行</p> <p>飯南森林組合や木質バイオマス関係団体と連携し、未利用の間伐材を1トン当たり6000円で買い取り、バイオマス発電に活用する「森林活（もりかつ）プロジェクト」をスタートさせた。</p> <p>地元商工会とも連携し、買い取り額の半額を地域限定の商品券で支給し、地域経済の活性化にも役立てる。(市の事業)</p> </div>				

2-(4)-②					
事業名	事業者等連携事業	説明	観光事業者や三重交通等と連携し、団体客むけの観光商品（バスハイク）等を開発して地域内外にPRしていく。		
現状と課題	飯高駅は市街地から約1時間の位置にあり、公共交通機関も路線バスだけのため自家用車での来訪が多いが、観光バス等による団体客も誘客する必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	観光商品開発	観光商品開発
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項	 <p>バスハイクによる珍布峠ウォーキング</p>				

(5) 移住者への魅力発信

2-(5)-①					
事業名	移住者向け魅力発信事業	説明	宮前に住みたいと思っている人に、ホームページを活用した情報発信をするとともに、移住希望者向け相談窓口を開設するための研究部会を立ち上げる。		
現状と課題	当地区も過疎化・少子高齢化が進行しているため、地域のリーダーになるべき人材が不足している。小中学校も児童生徒が減少し、クラブ活動などに支障がでている。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	情報誌作成発送	情報誌作成発送	情報誌作成発送	情報誌作成発送	情報誌作成発送
概算予算 (交付金充当額)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項	 <p>「松阪市空き家バンク制度」の移住者募集の ちらし</p>				

2-(5)-②					
事業名	空き家バンク等支援事業	説明	平成26年度から市は飯高・飯南管内で空き家バンク制度を開始したことから、情報の提供や地域相談員の設置等、市と連携して進めていく。		
現状と課題	過疎化にともない、老朽化した空き家が増加し、空き家バンクとしての活用は難しいが、今後ますます空き家が増加すると考えられることから、空き家バンク制度が推進されるよう支援していく必要がある。現在少数であるが都市部より若い人が移住定住している実績もある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	 <p>空き家バンクに登録されている住宅（野々口）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>移住者のコメント（市ちらしより抜粋）</p> <p>・・・ 澄んだ空気、川のせせらぎ、季節を感じさせる草花、虫、鳥たち・・・物のあふれる世の中ですが、ここには、生活の素材がたくさんあり、その温かさは子供たちにも十分伝わっています。保育園では兄弟のように育ててもらい、小学校では教科書で学べない授業がたくさん工夫されています。少人数ならではの運動会、学生生活での異学年交流や目の行き届いた教育は、田舎で子育てをしてよかったと実感します。・・・</p> </div>				

3. 安全で安心して暮らせるまち（防災部会）（青少年部会）

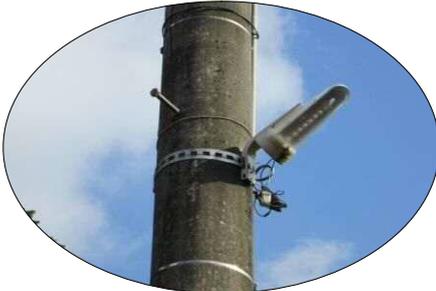
(1) 自主防災組織の充実

3-(1)-①					
事業名	自主防災組織強化事業	説明	自主防災組織を強化するために、連絡網の周知と消防団や行政との連携・協力のマニュアルを再点検するとともに、各自主防災組織の役員研修等を実施する。		
現状と課題	当協議会は全地域に自主防災組織を立ち上げ年1回の訓練を実施するとともに、住民カード・防災マップを作成してきた。しかし、近年のゲリラ豪雨や大規模災害に対応するために組織を強化する必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	活動助成	活動助成	活動助成	活動助成	活動助成
概算予算 (交付金充当額)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項	 <p>自主防災組織による訓練の様子</p>		<p style="text-align: center;">宮前地区自主防災組織の一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下滝野自主防災組織 132世帯 ・ 宮前下自主防災組織 90世帯 ・ 宮前中自主防災組織 91世帯 ・ 宮前上自主防災組織 77世帯 ・ 赤桶自主防災組織 180世帯 		

3-(1)-②					
事業名	住民カード・防災マップ更新事業	説明	毎年、住民カードを見直し緊急時に行政と情報共有できるようデータを整備しておくとともに、定期的に危険区域等の点検を行い、防災マップを更新作成し各戸に配布する。		
現状と課題	当協議会は24年に住民カード・22年に防災マップを作成し各戸に配布したが、いつでも活用できるよう更新していく必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	防災マップ更新	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	100,000円 (100,000円)	—
参考事項	 <p>災害時避難路図（各戸配布）</p>				

3-(1)-③					
事業名	大災害地域対応計画策定事業	説明	大災害発生時の役割分担（連絡連携プレー）のマニュアルを策定し、風水害対策とともに、地域住民に周知啓発を行う。		
現状と課題	当地区は、近い将来発生するといわれる南海地震は、土砂災害等の危険が想定されるが、まだまだ住民意識は低く啓発を実施する必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	 <p style="text-align: center;">松阪市避難所運営マニュアル</p>				

(2) 犯罪のないまちづくり

3-(2)-①					
事業名	防犯灯等整備事業	説明	自治会やPTAからの報告により現地調査を実施し、危険な通学路に防犯灯の設置を急ぐとともに、LEDへの変更を実施していく。		
現状と課題	防犯灯の整備は、平成25年から、住民協議会が実施することになったが、地域の要望に対応できるだけの財源が不足している。特に、危険な通学路解消にむけた取り組みが必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	防犯灯設置	防犯灯設置	防犯灯設置	防犯灯設置	防犯灯設置
概算予算 (交付金充当額)	130,000円 (130,000円)	130,000円 (130,000円)	130,000円 (130,000円)	130,000円 (130,000円)	130,000円 (130,000円)
参考事項	 <p style="text-align: center;">LEDに取り換えられた防犯灯</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">宮前地区の防犯灯設置数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下滝野 68ヶ所 ・宮前 100ヶ所 ・野々口 13ヶ所 ・作滝 11ヶ所 ・赤桶 69ヶ所 </div>				

3-(2)-②															
事業名	地域防犯組織設置事業	説明	自治会ごとに、地域防犯組織を設立し、声かけ運動や空き家等の巡回を実施していく。												
現状と課題	近年、宮前地区では発生していませんが、近隣地区では空き家等を狙った犯罪が増加している ので、注意喚起をしていく。														
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度										
	—	—	—	—	—										
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—										
参考事項	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>宮前地区の空き家を狙った犯罪件数</p> <table border="1"> <tr><td>平成 21 年度</td><td>1 件 (1 件)</td></tr> <tr><td>平成 22 年度</td><td>0 件 (0 件)</td></tr> <tr><td>平成 23 年度</td><td>0 件 (0 件)</td></tr> <tr><td>平成 24 年度</td><td>0 件 (0 件)</td></tr> <tr><td>平成 25 年度</td><td>0 件 (0 件)</td></tr> </table> <p>※飯高幹部交番調べ () は飯高管内</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">空き家になっている家屋</p>					平成 21 年度	1 件 (1 件)	平成 22 年度	0 件 (0 件)	平成 23 年度	0 件 (0 件)	平成 24 年度	0 件 (0 件)	平成 25 年度	0 件 (0 件)
平成 21 年度	1 件 (1 件)														
平成 22 年度	0 件 (0 件)														
平成 23 年度	0 件 (0 件)														
平成 24 年度	0 件 (0 件)														
平成 25 年度	0 件 (0 件)														

(3) 交通事故のないまちづくり

3-(3)-①					
事業名	交通安全指導連携事業	説明	自治会や学校・警察・行政等と連携して、啓発運動を実施するとともに、関係団体が開催する研修に参加する。		
現状と課題	現在は特別な問題はないが、休日の飯高駅周辺は交通量が増加するため、子どもや高齢者等の交通弱者には危険である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>とまとーずの活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交通安全指導員の活動</p> </div> </div>				

3-(3)-②					
事業名	カーブミラー等点検整備事業	説明	自治会や学校・PTAと連携し、カーブミラー等の点検を実施するとともに、必要に応じて改善を要望していく。		
現状と課題	路地からの飛び出し事故が起こらないように、危険箇所の点検と既設のカーブミラー等の点検が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>宮前地区のカーブミラー設置数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下滝野 32ヶ所 ・宮前 3ヶ所 ・野々口 3ヶ所 ・作滝 38ヶ所 ・赤桶 30ヶ所 </div> <p style="text-align: center;">老朽化したカーブミラーの設置状況</p>				

3-(3)-③					
事業名	通学路等点検整備事業	説明	自治会や学校・PTAと連携して通学路の安全点検を実施し必要に応じて改善を要望していく。		
現状と課題	子どもたちの通学路での事故を防止するために、常に危険箇所を点検するとともに、暗い危険な場所には、防犯灯が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	防犯灯設置	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	300,000円 (300,000円)	—	—	—	—
参考事項	 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>通学危険箇所改善要望書</p> <p>宮前立下町1丁目5丁目</p> <p>宮前小学校 校 長 横田 正樹 宮前小学校 PTA会長 丸山 幸雄</p> <p>通学路等における危険箇所改善のお願い</p> <p>宮前立下町1丁目5丁目 宮前小学校 PTA会長 丸山 幸雄</p> </div> <p style="text-align: center;">通学危険箇所（倒木、落石の危険）</p>				

4. 地域の絆を大切にするまち（福祉部会）

(1) 誰もが憩えるたまり場づくり

4-(1)-①					
事業名	まちづくりサロン整備事業	説明	世代間・地域間をつなぎ、憩える場所を提供していくために。まちづくり会館をさらに活用してもらえようPRしていくとともに、集会所や空き家を利用したふれあいサロンの確保を検討する。		
現状と課題	まちづくり会館を活用して各種のサークルを開催しているが、高齢者はゲートボール場以外に憩える場所がないために、すべての世代の人が憩える常設の交流の場が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項					
	宮前まちづくり会館の利用状況		老人福祉センターの利用状況		

4-(1)-②					
事業名	地域子育て支援事業	説明	地域の子どもの成長・発達を見守るために、保護者や地域の住民、保育園、学校、子育てに関わる各種団体等と連携し、充実した子育て環境が整備できるよう支援する。		
現状と課題	やまなみ保育園に置かれている子育て支援センターや学童保育等を充実させるとともに、子育て仲間が交流し、相談や研修などができる地域の子育て支援拠点づくりが必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	活動助成	活動助成	活動助成	活動助成	活動助成
概算予算 (交付金充当額)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)	50,000円 (50,000円)
参考事項					
	子育て世代の交流		地域の方から昔の遊びを学ぶ児童たち		

(2) 隣近所の声かけ見守り事業

4-(2)-①					
事業名	高齢者等声かけ見守り事業	説明	日頃からの交流を密にして、お互いに支え合う仕組みづくりを進めるとともに、子どもや高齢者・障がい者の見守り体制を確立していく。		
現状と課題	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の人が増える中、「住民カード」を作成し災害時要援護者の支援体制を確立してきたが、日頃からの隣近所の声かけ見守りが大切である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	  <p>民生委員による配食を兼ねた高齢者の見守りの</p>				

(3) 世代間交流の推進

4-(3)-①					
事業名	世代間交流事業	説明	経験豊富な高齢者から子育て体験・生活の知恵などを学ぶ世代を超えたふれあい交流事業や敬老事業の推進や公民館講座・スポーツを通じた幅広い世代間交流事業を実施していく。		
現状と課題	核家族化が進み、共同作業の少なくなった現在社会において、世代間の交流が希薄になったことから、各世代が交流できるイベントや地域行事等の参加を積極的に働きかける必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	イベント開催助成	イベント開催助成	イベント開催助成	イベント開催助成	イベント開催助成
概算予算 (交付金充当額)	350,000円 (350,000円)	350,000円 (350,000円)	350,000円 (350,000円)	350,000円 (350,000円)	350,000円 (350,000円)
参考事項	  <p>宮前文化祭の状況</p> <p>小中学校・地区合同運動会の状況</p>				

5. 恵まれた自然環境を守り続けるまち（自治部会）

(1) 美化運動の拡充

5-(1)-①					
事業名	美化運動拡充事業	説明	自治会の実施する美化運動と連携するとともに、未実施の部分を地域ボランティアの会を設立して美化運動を実施していく。		
現状と課題	地域内では国道 166 号線沿いの草刈や歩道周辺のゴミ拾い等が一部実施されているが、未実施のところもあるので定期的に実施する必要がある。				
年次計画	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	 <p>国道の草刈の状況写真</p>				

5-(1)-②					
事業名	ポイ捨て防止看板設置事業	説明	年次計画をたて、ゴミのポイ捨て防止看板を作成設置していく。		
現状と課題	道路の駐車場や林道沿いに不法に投棄されたゴミが増えているが、今後、地域の担い手が高齢化しており今までのように清掃が実施できない箇所がでてきた。				
年次計画	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	—	—	—	看板設置	看板設置
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	50,000 円 (50,000 円)	50,000 円 (50,000 円)
参考事項	 <p>不法投棄防止看板設置状況</p>				

(2) 憩いの広場づくり・里山の手入れ

5-(2)-①					
事業名	公園等管理事業	説明	公園等の保持と適正管理を支援していくとともに住民の積極的な利活用が図れるようPRしていく。		
現状と課題	荒滝不動尊、秋葉山、局ヶ岳神社、柏原不動尊等の境内は公園化され広場として利用されているが、日常的な利用が少ないため維持管理が難しくなっている。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	  <p>秋葉山農村公園の維持管理状況</p> <p>飯高駅 交流広場</p>				

5-(2)-②					
事業名	里山等整備事業	説明	荒廃した山林を保全することによって、里山の風景を地域資源として活用するとともに生態系の維持にもつなげていく。		
現状と課題	林業の担い手の高齢化により、里山の風景を保全していくことが難しいが、ウォーキングコースの山林は、大規模林業家による整備が一部実施されている。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	  <p>荒廃した里山の状況</p> <p>整備された里山</p>				

(3) 水辺とふれあう里づくり

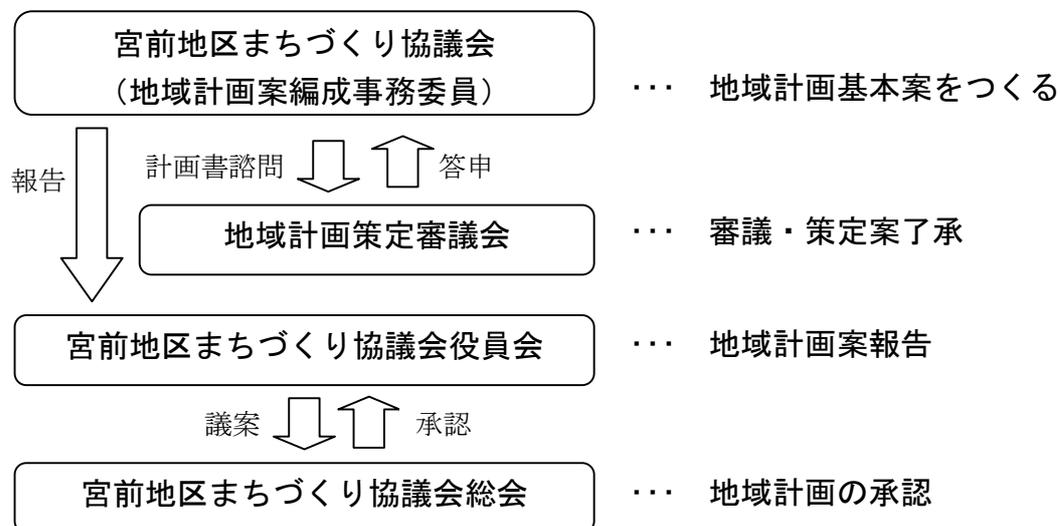
5-(3)-①					
事業名	ふるさとの水辺整備事業	説明	水辺（櫛田川）への降口や遊歩道等の整備をするとともに、飯高駅周辺に親水スペースを整備することを検討する。		
現状と課題	鮎釣りや川で遊ぶ人が少なくなり、櫛田川に親しむ機会がますます低下していくため、親水施設等の整備が必要である。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>降り口整備予定箇所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>降り口整備済状況</p> </div> </div>				

5-(3)-②					
事業名	清流櫛田川復元事業	説明	地域内外の人に水道水源である櫛田川をPRするとともに、清流櫛田川を取り戻す運動を展開する。		
現状と課題	櫛田川の河川環境が近年悪化し、鮎釣りや川で遊ぶことが少なくなった。上流の地域に住む者としてこの水を守っていくとともにできるだけ昔の櫛田川を取り戻す必要がある。				
年次計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	—	—	—	—	—
概算予算 (交付金充当額)	—	—	—	—	—
参考事項	<div style="text-align: center;">  <p>櫛田川 30年前の鮎釣り風景</p> </div>				

VI. 地域計画の進め方

地域福祉計画（平成21年3月）策定時に集約した地域住民の意見や要望を参考にして、地域計画案編成委員が地域づくりの目標や基本方針を定め、各部会と調整して具体的な施策を決定しました。

その後、宮前まちづくり協議会の理事会の代表者からなる地域計画策定審議会に諮り、答申をされました。



【宮前地区まちづくり協議会役員】

	氏名	備考
会長	田中 矜兒	
副会長	山下 泰史	
副会長	田中 正	
副会長	野呂 久嗣	
事務局長	向坂 文一	
事務局長補佐	尾鍋 哲也	
会計	滝野 源一	
会計補佐	野呂 義文	

【地域計画策定審議会委員】

	氏名	所属	備考
委員	森本 淳	赤桶やったる会	
委員	野呂 裕一	宮前良処会	
委員	村田 仁	下滝野SANさん会	
委員	中川 順子	飯Ne!!	
委員	角谷 浩志	自治会	
委員	中村 武司	自主防災組織	
委員	淵上 和俊	ガイドボランティア	
委員	中里 孝子	主任児童委員	
委員	尾鍋 哲也	協議会役員	会長
委員	九鬼 弘和	宮前小学校PTA	
委員	片浦 正史	飯高東中学校PTA	

【地域計画案編成事務委員】

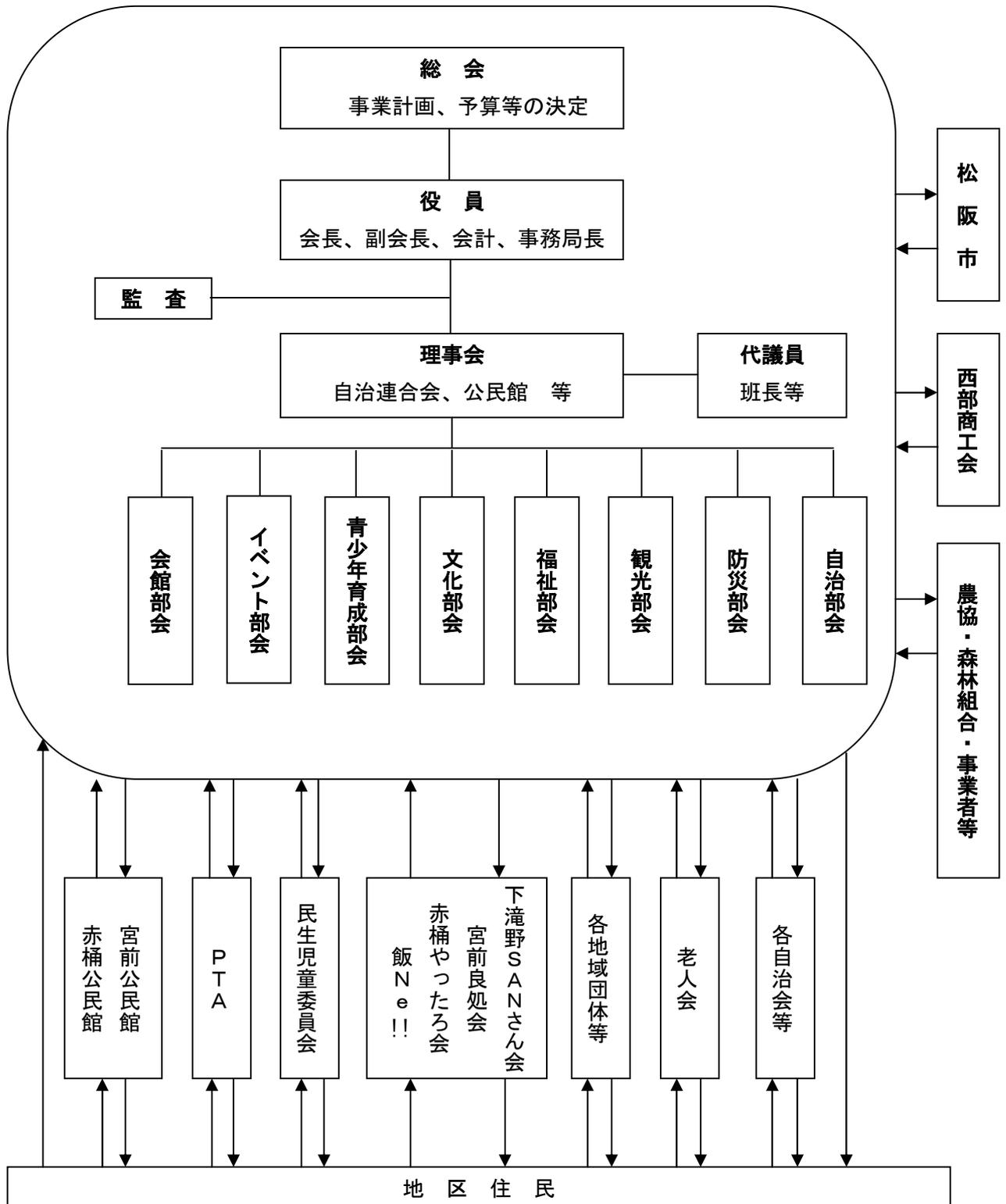
	氏 名	所属・役職	備 考
委員長	田中 矜兒	協議会役員会長	
委員	向坂 文一	事務局長・文化部会長	
委員	野呂 義文	会計次長	
委員	大谷 洋一	自治部会長	
委員	柳瀬 勝久	行政	
委員	高岡 清士	行政	

Ⅶ. 地域計画策定の経過

開催日時	会議名	内 容
H26. 7. 9	第 1 回地域計画案編成委員会	
H26. 8. 6	第 2 回地域計画案編成委員会	
H26. 9. 3	第 3 回地域計画案編成委員会	
H26.10.10	第 4 回地域計画案編成委員会	
H26.11.21	第 5 回地域計画案編成委員会	
H27. 1.13	第 6 回地域計画案編成委員会	
H27. 2.10	第 7 回地域計画案編成委員会	
H27. 3.18	第 1 回地域計画作成審議会	
H27. 4.23	第 2 回地域計画作成審議会	
H27. 5.15	宮前まちづくり協議会役員会	
H27. 6. 1	宮前まちづくり協議会総会	

VIII. その他資料

1. 宮前まちづくり協議会組織図



ふるさと応援寄付金のお願い！

宮前まちづくり協議会の 活動を応援してください！！

松阪市を応援してくれた方に、ふるさとの特産品のプレゼント

8万円以上の寄附

特産松阪牛 すき焼き用(数量限定)

【内容】 ロースまたは肩ロース 600g
きめ細かいサシ(霜降り)と甘く深みのある上品な香りのや、長期肥育することで脂肪の溶け出す温度(融点)が低く舌触りが非常に良いことなどが大きな特徴です。

※毎年度4月から9月の寄附者を対象としますが、特産松阪牛の調達状況によっては松阪牛極上すき焼き用となる場合があります。

※10月から3月の寄附者については、松阪牛極上すき焼き用となります。
【内容】 ロースまたは肩ロース 800g



1万円以上の寄附をしていただいた市外在住の個人の方。

5万円以上の寄附

松阪牛 すき焼き用

【内容】 ロースまたは肩ロース 600g

優れた資質、行き届いた肥育管理によって日本一の肉牛として認められ、味のすばらしさは「肉の芸術品」として全国、世界から称賛されています。



1万円以上の寄附

松阪特産品セット

松阪茶詰め合わせ
松阪もめんセット
ちゃちゃもセット
障がい者施設加工品セット
など



一覧からいずれか一つを選択していただけます。

さらに特典

お申し込みは

松阪市飯高老人福祉センター内
宮前まちづくり協議会事務局

電話 0598-46-1315

FAX 0598-46-1315

宮前まちづくり協議会に指定寄付(1万円以上)いただければ、松阪市のプレゼントに加えて「飯高の湯の入湯券」をプレゼントさせていただきます。



宮前地区まちづくり計画

平成 27 年 5 月

発行 宮前まちづくり協議会

〒515-1502 三重県松阪市飯高町宮前 704

宮前まちづくり会館

(連絡先：松阪市飯高老人福祉センター内)

宮前まちづくり協議会事務局

電話 0598-46-1315

FAX 0598-46-1315